

《30年度経営計画》

項目	重点目標	取組項目	モニタリングすべき達成基準	担当部門	30年度目標	責任者	実施者	アクション先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
理念・風土	法人の理念や方向性が全職員に周知・理解されている	施設内研修、リーダー会議、ユニット会議による全職員の意識統一	理念等に関する研修の実施回数	ユニットケア・自立支援介護管理部門	12回毎月	理事長	役職員	職員	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議
		研修・会議の開催回数	2回(半期に1度)																		
	リーダー講習を実施し、リーダー職位以上の職員の意識統一	〃																			
	組織は日々改善していく必要があるという意識を全従業員がもち、積極的な業務改善活動を行う	ユニット会議、リーダー会議にて、ユニットケアの推進とリーダー育成とともに業務改善の継続的改善をサポート	会議における改善活動の実施状況と報告回数	ユニットケア・自立支援介護管理部門	2回(半期に1度)	理事長	〃	職員													
人財・教育	スキルや意識向上など従業員への教育に力を入れ、投資を行う	施設内研修による介護技術・接遇力・モラル・学習意欲の向上※	介護技術・接遇力・モラルに関する内部研修開催回数	ユニットケア・自立支援介護管理部門	12回毎月	役員	〃	職員	・ 通年で実施 ・ 随時見直し												
		外部研修による介護技術・接遇力・モラル・学習意欲の向上※	外部研修参加延べ人数		24人																
	働きがいのある職場であり、職員のモチベーションが高い	職員満足度アンケート実施による現状把握	職員アンケートの実施	事務局	実施																
	昇給や昇格などキャリアアップの機会が設けられている	業績や資格運動型賞与導入に向けた適正な人事考課制度の構築による公平性向上	業績や資格運動型賞与導入に向けた適正な人事考課制度の構築による公平性向上	法人事務局	制度導入	1回	理事長	〃	職員・役員												
組織管理・システム	業務手順が明確に定められ、質の担保、効率化が徹底されている	部署(ユニット)ごとに業務手順書の作成による業務標準化	業務手順書の更新回数	ユニットケア・自立支援介護管理部門	4回	役員	〃	職員	・ 通年で実施 ・ 随時見直し												
		アセッサー及び役職者評価による介護技術の統一	レベル認定者の人数		4名																
	役割と責任が明確化され、ガバナンスの効いた組織管理体制を構築する	組織体制の見直しによる適材適所の人員配置	組織体制見直しの検討	事務局	随時	理事長	〃	職員・役員	現状分析・リスク評価				現状分析・リスク評価								
	災害対策にむけた施設備蓄用品確認と組織管理体制強化	ユニットリーダー研修実地研修施設認定に向けた組織体制強化	ユニットケア推進センターからの認定	ユニットケア・自立支援介護管理部門	体制構築	役員															
経営組織のガバナンスの強化	経営組織の見直し・強化(ガバナンス体制の変更)	社会福祉法改正内容により都度見直す	法人事務局	見直し・検討	理事長	〃	-														
広報・営業	目的や成果を意識した渉外活動を実施する	ホームページ、パンフレット、ブログの更新・見直しによる法人イメージの向上	更新回数 見直しの実施	事務局	都度 (HP更新は12回)	理事長	〃	委託業者	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新
		ボランティア活動の方との積極的交流と、地域活動の促進	ボランティア活動の回数とボランティア受け入れ人数(団体数)/地域・地元との交流促進	在宅部門	7団体/検討	役員	〃	-	・ 通年で実施 ・ 随時見直し												
サービス提供	現場職員が高い介護技術を身に付ける	キャリア段位制度導入による介護技術力の見える化	キャリア段位制度にのっと技術チェックシートの作成	ユニットケア・自立支援介護管理部門	作成	役員	〃	職員													
		施設内研修による介護技術・接遇力・モラル・学習意欲の向上※	前掲		-	アセッサー	〃	職員	外部講師	・ 通年で実施 ・ 随時見直し											
	外部研修による介護技術・接遇力・モラル・学習意欲の向上※	〃	-		施設長	実施				役員	〃	利用者家族	検討	開催	・ サービス評価による現状分析						
	利用者満足につながる質の高い介護サービスが提供されている	家族会や行事の開催とアンケートの実施によるサービス評価	家族会の開催とアンケートの実施		作成・設置	施設長	〃	利用者	利用者家族	・ 通年で実施 ・ 随時見直し											
財務	ケアの質を高め、同時に職員の業務負担を軽減させるなどの設備投資に計画的に資金を回す	外壁改修・空調設備・浴室、トイレを含む水回り等の改修工事による居住環境の向上	改修工事の検討・見直し・実施	法人事務局	-	理事長	〃	-	・ 検討												
		社会福祉法人として地域に向けた取り組みが実施されている	社会福祉法人としての地域公益事業の一つとして立地条件を活かした地域に開かれたスペースの増設の検討と実施及びコミュニティー教室(仮名)の開講	オープンテラスやコミュニティーカフェの増設	法人事務局	増設	理事長	〃	利用者・利用者家族・地域住民	・ 通年で実施 ・ 随時見直し											
		認知症予防健康体操教室と介護相談会の開催	在宅部門	実施	居宅管理者	〃															
		収入増加に努め、成果を出す	誤嚥性肺炎・骨折等での入院予防の取り組みによる入居稼働率の向上・安定	入院者数の減少率/施設の稼働率	施設部門	3%down/98%	役員	〃	職員・看護師・嘱託医	現状分析・リスク評価				ルール策定				ルール実施・モニタリング			
入退所のオペレーション見直しによる入居稼働率の向上	施設の収益	収益目標 2.8億以上	〃	職員・機能訓練指導員・看護師		現状分析・リスク評価				ルール策定				ルール実施・モニタリング							
個別機能訓練加算取得による入所単価の向上	QOLの向上/心身機能の維持向上/加算の取得	取得				〃				管理栄養士											
栄養マネジメント加算取得による入所単価の向上	食事の質向上/栄養改善の取り組み/加算の取得	取得									〃	職員・看護師・嘱託医									
看取り介護加算取得による入所単価の向上	医療提供体制の強化/加算の取得	取得	在宅部門	稼働率100%以上	〃	職員・看護師・相談員	特: 短: デ:														
利用者満足度の高い食事・入浴・レクの開発による全部門稼働率向上	ショートステイの稼働率 デイサービスの稼働率	稼働率98%以上		〃				職員・看護師・相談員													
機能訓練加算取得によるデイ利用料向上	QOLの向上/心身機能の維持向上/デイの収益	収益目標 4千万以上			〃	職員・ケアマネ・相談員	現状分析・リスク評価				ルール策定				ルール実施・モニタリング						
デイサービスキャンセル率抑制によるデイ稼働率向上	デイのキャンセルの減少率/デイの稼働率	収益目標 8千万以上		役員			〃	現状分析・リスク評価				ルール策定				ルール実施・モニタリング					
費用の適正化に努め、成果を出す	新規・既存の居宅介護支援事業所への営業強化による新規利用者獲得	新規営業件数	30件	管理者	〃	ケアマネ・地域包括支援センター	営業先選定														
	職員の配置見直しによる人件費の適正化	新規・中途介護職員 採用数	5人	事務局	75%	理事長	〃	-													
	職員福利厚生・施設設備投資への利益還元計画検討	職員定着率の向上	利益額の還元率						法人事務局	-	検討										

※ 役員職員・・・ユニットケア推進員を含むそれ以上の役員者

社会福祉法人弘心会 ほろい苑